

特別委員会委員長報告

9月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

行財政改革推進 特別委員会

市有財産の管理・活用 状況は

今年度進捗があるのは、市営百石団地、旧黒土児童遊園地の売り払いであり、境界確定の作業中である。

借地料の支払いが前年度、土佐山田町で16件、香北町43件、物部町30件、アンパンマンミュージアム周辺8件である。

旧前山団地跡地は入札参加者がいなかった。理由としては、最低入札価格を考慮したが単価的に折り合わなかったと思われる。鑑定額を下げるのが可能か、鑑定士と協議する。

その他、以前より変わっていない状況もあり、市有財産をどう活用していくのか、継続しての調査、審査が必要である。

随意契約について

随意契約の現状を把握するのに、管財課が各課のものを集めて出せるのか質疑した。

調査をかけてできないことはないが、契約数、内容も多種にわたる難しいとの答弁があった。



定住人口増加促進 特別委員会

都市計画の見直しについて

香美市、高知市、南国市、いの町の高知広域都市計画は、現状維持という方向性で変わっていない。しかし、

権限移譲は時代の流れで、いずれは受けなければならぬ。

それまで、権限移譲に向けての人材育成や、資料・情報収集等、内部の土台固めを行っていかねければならないと考えているとの説明を受けた。

南国市の基本方針、香美市の状況について

平成29年5月1日付の高知新聞紙上に掲載された「南国市、開発緩和へ基本方針」の記事にある

- ① 集落機能の維持
 - ② 高知大医学部周辺の活性化
 - ③ 企業誘致
 - ④ 空き家活用
- の4つの基本方針について説明を受けた後、今後県への要望なども含む香美市の方向性を協議。

その他、執行部より香美市の人口の推移、建築確認申請受付件数

等の説明を受けた。

人口の推移（平成29年4月1日現在）

◎総人口

2万6263人（前年比▲223人）

◎都市計画区域人口

1万8918人（前年比▲17人）

◎市街化区域人口

1万747人（前年比74人増）

◎市街化調整区域人口

8171人（前年比▲91人）

◎建築確認申請受付件数

（平成29年6月末現在）

◎住居系市街化区域

18件（前年度＝61件）

◎住居系調整区域

3件（前年度＝24件）

◎その他店舗等

6件（前年度＝18件）であった。

「協働」・「参画」 調査研究特別委員会

6月27日、8月1日、28日に委員会を、また、7月25日から26日にかけて、総務常任委員会と合同で、埼玉県宮代町の「まちづくり基本条例」と三芳町で視察研修を行った。（視察内容は本誌10頁を参照）

本委員会では「協働・参画」の調査研究に際し、三芳町の関連条例等をたたき台としている。

視察も踏まえ、市政への住民参画を促す仕組み作りのため「香美市協働のまちづくり条例」案や同施行規則案の策定作業を行っている。施行規則案が策定された時点において、執行部との協議も行う予定である。

